


和崎 宏

wasaki ひろし / Wasaki Hiroshi

<p>所属・役職</p>	<p>インフォミーム株式会社 代表取締役 関西学院大学総合政策学部 非常勤講師 NPO 法人はりまスマートスクールPJ 理事長/博士（環境人間学）</p>	
<p>活動拠点</p>	<p>主に兵庫県</p>	
<p>略歴</p>	<p>1980年 琉球大学理学部物理学科卒業 1996年 インフォミーム株式会社を設立、代表取締役（現任） 2005年 関西学院大学総合政策学部非常勤講師（現任） 2007年 総務省地域情報化アドバイザー（現任） 2010年 環境人間学博士号取得（兵庫県立大学大学院）</p>	
<p>こんなことを 支援できます</p>	<p>①生成 AI・AI 活用 ・生成 AI ツールや業務 AI の導入・活用方法に関する相談・支援。 ・DX 推進に向けた機運醸成・人材育成の計画策定と実施支援。</p> <p>②地域 SNS・ソーシャルメディア活用 ・地域 SNS やソーシャルメディアを活用したまちづくりの企画・運営支援。 ・情報プラットフォームを活用した地域コミュニティ活性化のアドバイス。</p> <p>③デジタルデバйд対策・防災・教育情報化 ・デジタルデバйд解消のための施策立案・住民向け IT リテラシー向上支援。 ・防災・教育情報化に関する地域ネットワーク整備と ICT 活用の提言。</p> <p>④地域ビジネス・スタートアップ・観光 ・地域ビジネス創出・起業支援、シェアリングエコノミー導入の相談。 ・観光振興への ICT・SNS 活用戦略の立案と実施アドバイス。</p>	
<p>自治体向け メッセージ</p>	<p>今後 IoT 技術が急速に進展して超スマート社会が実現します。便利で手軽になる反面、地域のつながりが希薄化し、地域基盤の弱体化が現実の課題となります。これからは、グローバルとローカルが相互補完しながら相乗効果をもたらすデザインと運用が不可欠。地域ネットワークの実践研究者として助言します。</p>	

<主な専門分野> ※特に得意とする専門分野を3つまで掲載

生成

生成 AI 活用

教

教育情報化/情報教育

ビ

地域ビジネス

<地域情報化に関する実績>

1. シリコンバレーの再生モデルを日本型コミュニティへ適用（1990年代～）

- ・シリコンバレーでの知見獲得と移転：1990年代初頭、シリコンバレーの再生を支えた「スマートバレー公社（SmartValleyInc.）」のエートスを日本に移植することを目標とした「スマートバレージャパン」の活動に参画。そこで培った「産官学民の連携」や「QOL（生活の質の向上）のためのIT活用」という哲学を現在も地域情報化の指針としている。
- ・日本型ネットデイ（JapaneseNetDay）の提唱と普及：阪神・淡路大震災での「情報の断絶」への反省から、ボランティアの手で学校のネットワークを整備する「ネットデイ」を全国で展開。単なる工事ではなく、地域住民や保護者が「自分たちの街のインフラを自分たちで作る（DoItOurselves）」という主体性を育むコミュニティ形成モデルとして確立し、政府の「IT政策パッケージ2005」への反映にも寄与した。

2. 地域SNS「ひよこむ」による情報の地産地消と信頼基盤の構築（2006年～）

- ・生活圏SNSの構築と全国展開：人口5万～7万人程度の「共有文化圏」を単位とした地域SNS「ひよこむ」を開発・運営。顔の見える関係性と実名制を軸とした「信頼のインフラ」を構築した。
- ・OpenSNPによる知恵の共有：独自開発したSNSエンジン「OpenSNP」を無償公開し、全国50以上の地域SNS誕生を支援。デジタル上の交流がリアルの地域活動（ひよこむカー制作、横浜開港150周年市民イベント等）へと溢れ出す「スモールワールドの奇跡」を多数創出した。

3. 生成AIを活用した次世代の地域教育・リテラシー向上（2024年～）

- ・「生成AI×聴き書き」モデルの実践：兵庫県立上郡高校において、生徒が地域の名人の人生を聴き取り、生成AI（ChatGPT）を「対話の鏡」として活用しながら物語を編む先進的な授業を設計・実施。
- ・ヒューマン・リテラシーの再定義：AIが生成した文章の違和感から「人間本来の温度感」を再発見するリテラシー教育を推進。技術を使いこなす「心の成熟」を最終目的とした、デジタル・デバイド解消と世代間交流の融合モデルを提示している。

4. 広範なアドバイザー活動とナラティブによる知見の継承（2007年～）

- ・継続的な伴走支援：2007年より総務省地域情報化アドバイザーとして、自治体のDX推進やデジタル化を通じたコミュニティ活性化の施策立案を支援。
- ・30年の軌跡の体系化：自身の活動を『霧を晴らす人』として物語化し、報告書の形式を超えた「誰もが市民起業家になれる」ための実践的知見の普及に努めている。